

甲斐市歴史文化資産年報6

令和4年度

2024

甲斐市教育委員会

序 文

山梨県の県庁所在地である甲斐市の西に隣接する甲斐市は、平成16年(2004)9月に中巨摩郡竜王町・同郡敷島町・北巨摩郡双葉町が合併して誕生し、令和6年9月には合併20年を迎えます。本市のかつての景観は、農村風景がひろがるのどかな景観でしたが、戦後の高度成長期以降、平坦地を中心に宅地開発が頻繁に行われました。その結果、農村風景は一変し、現在は宅地景観が主となっています。

一見すると宅地ばかりで、歴史文化が希薄な地域に感じられますが、多くの方に知られていないだけで、地域固有の歴史文化は脈々と受け継がれています。しかし、そのような歴史文化も、人口減少や生活スタイルの多様化、地域間交流の薄れから、歴史文化の滅失や後継者不足といった課題が全国的にさげばれています。

このような課題を地域社会全体で解決するため、本市では「甲斐市文化財保存活用地域計画」を作成し、令和4年12月に文化庁長官の認定を受けたところです。地域のアイデンティティである歴史文化を次代に伝える手立ては、文化財担当部局だけでなく、行政の他部局や専門家、地域の様々な人たちの協力と理解を得て講じていく必要があります。令和5年度から、本計画をもとに幅広く歴史文化を将来に伝えるための取組をはじめました。まだまだ、花開くにはほど遠い年月がかかりそうですが、焦らずじっくりと「地域社会総がかりで歴史文化を次世代に伝える」土壌づくりをしていくつもりです。

最後になりましたが、甲斐市の文化財保護行政に際し、ご理解とご協力を賜りました関係各位に深く感謝いたします。

令和6年3月31日

甲斐市教育委員会

教育長 高 鳥 悟

例 言

1. 本書は山梨県甲斐市の令和4年度における文化財保護に関する概要を記した年報である。
2. 本年報における文化財保護に関する行政組織は次のとおりである。

令和4（2022）年度		
甲斐市教育委員会	教 育 長	横森 貴志
	教育部長	小澤 明
生涯学習文化課	課 長	高須 秀樹
文化財係	係 長	海野 成江
	主 査	長谷川 哲也
	主 事	塩谷 風季
	副主事	高見澤 菜美

令和4年度 文化財調査作業員（会計年度任用職員）登録者（順不同）

高添 美智子・望月 典子・田中 ひとみ・村松 圭子・青柳 正史・古屋 秀雄・羽中田 勲・立花 重光
日向 充雄・齊藤 功記・笠井 治・秋山 高之助・小林 求・森川 恵美・醍醐 三郎・瀧口 晴彦
飯沼 源治・箭本 千尋・大塚 律子・祢津 利人・青木 保志・雨宮 信次・中安 典子・保坂 秋蘭
佐野 進一・宮坂 雄次郎

3. 本書の執筆・編集は長谷川が行った。
4. 本書に掲載した史・資料、諸記録はすべて甲斐市教育委員会に保管してある。
5. 令和4年度中の文化財保護業務にあたり関係各位からご理解、ご協力を頂いた。ここに感謝申し上げる次第である。

目 次

第1章 文化財の保存と活用

1. 文化財保護審議会 …………… 1
2. 甲斐市文化財保存活用地域計画と協議会 …… 6
3. 指定文化財 …………… 8
4. 調査・研究 …………… 9
5. 日本遺産関連 …………… 11
6. 教育・普及事業 …………… 11

第2章 埋蔵文化財

1. 令和4年度 埋蔵文化財保護行政概要 …… 14
2. 令和4年度 試掘調査概要 …………… 16

第1章 文化財の保存と活用

令和元(2019)年、中華人民共和国湖北省武漢市で新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が発見され全世界に感染拡大し、令和2年2月11日世界保健機関(WHO)によって新型コロナウイルス感染症は「COVID-19 (coronavirus disease 2019)」と命名された。その間、政府ガイドライン等をふまえた上で事業の実施・中止等を判断していた。本年報で報告する令和4年度は、そのような社会背景があることを最初に述べておく。

<引用・参考文献>

厚生労働省「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に係る新型インフルエンザ等感染症から5類感染症への移行について」(令和5年4月27日厚生労働大臣公表文書/令和6年1月4日ウェブサイト閲覧)

国立感染症研究所「海外におけるCOVID-19の流行状況について(2020年6月4日時点)」(IASR Vol.41 p105-106/2020年7月号/令和6年1月4日ウェブサイト閲覧)

同上「コロナウイルスとは」(令和6年1月4日ウェブサイト閲覧)

1. 文化財保護審議会

令和4年度の文化財保護審議会は委員の改選が行われ、甲斐市文化財保護条例第20条1項に基づき、令和2年度・令和3年度に引き続き坂本 美夫氏が会長に選任された。また、同条例第3項に基づき、坂本会長から新津 健氏が職務代理に指名され、引き続きの選出となった。委員は2年任期であるため、令和4年度から令和5年度の甲斐市文化財保護審議会委員は下表のとおりとなった。また、平成26年度から8年間委員をお務めいただいた鈴木 麻里子氏は諸事情によりご退任することとなり、新たに丸尾 依子氏が委員となった。

第1表 文化財保護審議会委員名簿(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)

役職	氏名	専門	担当
会長	坂本 美夫	考古学	有形文化財(考古資料)・記念物(史跡)
職務代理	新津 健	考古学	有形文化財(歴史資料)・記念物(名勝地)
委員	畑 大介	史学・保存科学	有形文化財(歴史資料)・文化財保存修復
委員	蘆原 桂	植物学	記念物(植物)
委員	丸尾 依子(新任)	民俗学	民俗文化財

令和4(2022)年度 文化財保護審議会 主要議題

◆委嘱状交付式及び第1回(令和4年6月10日)

(1) 主な前年度文化財関係事業について

① 指定文化財保護事業

- ・国登録文化財説明板設置事業 1ヵ所(山縣神社本殿)
- ・防災保守点検事業(光照寺薬師堂(国重文)・慈照寺(県指定))
- ・文化財保存等事業(下福沢の道祖神祭(市指定))
- ・松尾神社本殿(市指定)倒木撤去事業

② 文化財調査・保護事業

- ・甲斐市文化財保存活用地域計画作成のための現地調査
- ・甲斐市文化財保存活用地域計画の本文作成
- ・旧羅漢寺 遺構測量調査(日本遺産関連)

- ・ 亀沢長田家文書 簡易目録作成

③普及・活用事業

- ・ 歴史講座の開催（全10回）
- ・ 各種教育普及事業（歴史講座と合わせた参加総数1,225名）

(2) 令和4年度文化財関係事業について

①指定文化財保護事業

- ・ 防災保守点検事業（光照寺薬師堂・慈照寺）
- ・ 文化財保存等事業（下福沢の道祖神祭・金剛地金山神社祭典（市指定））
- ・ 松尾神社本殿（市指定）屋根修繕事業

②文化財調査・保護事業

- ・ 甲斐市文化財保存活用地域計画の申請（8月末末切）
- ・ 峠の腰窯跡第1次発掘調査（7月～11月）
- ・ 大久保岡田家文書、漆戸飯沼家文書 簡易目録作成

③普及・活用事業

- ・ 歴史講座の開催（全9回を予定）
- ・ 各種教育普及事業

(3) 甲斐市文化財保存活用地域計画の進捗状況について

◆第2回（令和4年8月22日）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面開催となった。これまでも複数回確認していただいていた甲斐市文化財保存活用地域計画の最終案を委員にお送りし、修正等があれば電話やメール等でご意見を頂戴し、最終案に付け加えた。



第1回審議会 委嘱式



第1回審議会

◆委員研修（令和4年12月19日）

近隣地域で文化財保存活用地域計画が文化庁長官から認定された自治体の取り組み方法などを聞き取るため、令和4年7月22日に計画が認定された長野県千曲市を訪れた。本市文化財と類似する周辺の文化財を見学したのち、千曲市歴史文化財センターにて千曲市職員（齊藤 清行文化創造担当部長（歴史文化財センター所長）・小野 紀男文化財係長・平林 大樹主査）から計画作成から現在までの詳細なお話を伺った。以下に概要を記す。

<千曲市について>

長野盆地（善光寺平）南端部に位置する千曲市は、更埴市・埴科郡戸倉町・更級郡上山田町が平成15年9月に合併して誕生したまちで、現在の人口は59,000人余りである。北流する千曲川が市域を大きく2つに分け、かつて右岸は埴科郡、左岸は更級郡に分かれていた。市域には上信越自動車道と長野自動車道が通り、更埴ジャンクションによって両自動車道は結節し、高速交通網の要の役を果たしている。代表的な文化財は、国史跡の森將軍塚古墳（埴科古墳群）、国名勝の婁捨（田毎の月）、重要文化的景観の婁捨の棚田、稲荷山重要伝統的建造物群保存地区があげられるほか、市内全域に日本遺産「月の都 千曲」の29点の構成文化財が点在する。また、長野県立歴史館も千曲市に所在する。

<千曲市文化財保存活用地域計画に関すること>

- ・職員体制は7名
- ・計画は市職員が全て作成、関連文化財群あり
- ・措置は新規で行うものは少なく、基本的には継続事業である
- ・協議会委員は各地区の代表者で、地域に文化財に関わる方々
- ・認定前と後で協議会が異なる
- ・認定直後の機運を利用し、令和4年9月から千曲市歴史講座を開始
- ・現教育長が地域学習（ふるさと学習）を重視している。市内の小学校が順次創立150周年を迎えるため、歴史に関する講演で職員が複数回講演
- ・計画は小中学校で歴史の副読本として活用してもらうことを期待している
- ・課題は特定の文化財担当職員に文化財の価値判断が集中しない体制の構築。引き続き未指定文化財の把握・調査など

<甲斐市からの質問に対する回答>

- ・職員数は足りているか
→足りていないが、定員管理計画もありむやみに増やせない状況である
- ・活用にあたり、どのように学校に切り込んでいったか
→日本遺産の時は、校長会に直接伺って話をした。また、総合的な学習時間に何をすればいいかわからない教師に対してのアプローチ、「ふるさと千曲」という事業で地域の歴史の話を行っている
- ・未指定文化財の件数が145,533点となっているが、その内訳は
→古文書1点1点も含む数なので、このような数になっている。武水別神社神主である松田家文書だけで13,000点あまりある

以上、市域の様子や文化財に関する課題も本市と共通する部分が多く見られ、計画認定後の措置(事業)を実施するにあたり、非常に参考となる話を伺うことができた。

ご多忙の最中にご対応いただいた千曲市歴史文化財センターの皆様には、この場を借りて御礼を申し上げます。



映捨の棚田と善光寺平



棚田の手作りランタン（メッセージ入り）



映捨の説明板



千曲市日本遺産センター（レストラン併設）



稲荷山宿付近にある案内板



稲荷山宿内にある説明板



北進する善光寺街道と東進する谷街道起点



稲荷山宿の街並み



千曲市歴史文化財センター



千曲市職員からの聞き取り

◆第3回（令和5年2月6日）

(1) 甲斐市文化財保存活用地域計画の認定後の取組について

- ① 令和5年度の取組について
- ② 次期 甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委員について

(2) 三社神社本殿（市指定）内部の戸張（とばり）修理希望について

その他報告

- ・ 松尾神社本殿（市指定）の修理進捗について
- ・ 竜地の揚子梅（県指定）の所有者変更について
- ・ 妙善寺の櫃（市指定）について
- ・ 竜王新町の庚申待（市指定）ほかの無形民俗文化財について
- ・ 峠の腰窯跡第1次発掘調査の終了について
- ・ 旧金桜神社石鳥居の調査写真の発見について

第2表 令和4年度審議会活動

開催日	内 容	開催場所
令和4年6月10日	委員委嘱状交付式及び第1回審議会	甲斐市役所
令和4年8月22日	第2回審議会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面開催）	—
令和4年12月19日	委員研修 姨捨の棚田・長楽寺ほか（千曲市八幡付近） 稲荷山重伝建保存地区（同市稲荷山） 千曲市歴史文化財センター（同市桜堂） 内務省堤防と霞堤（同市新田付近）	長野県千曲市
令和5年2月6日	第3回審議会	甲斐市役所

2. 甲斐市文化財保存活用地域計画と協議会

令和3年度に協議会を立ち上げ計画素案を作成した。令和4年度は計画素案に対する文化庁からの指導・助言に基づき数度の修正を施し、令和4年11月に計画を申請し、同年12月16日に文化庁長官から本市計画が認定を受けた（経過については第4表を参照）。

計画は令和5年度（2023）から令和12年度（2030）まで8年間を計画期間とし、そのうち令和5年度から令和7年度を前期、令和8年度から9年度を中期、令和10年度から12年度までを後期と設定し、事業計画の目安としている。また、基本理念「ふるさとの歴史文化を未来につなぐ心づくりと人づくり」を実現するための基本方針として、「方針1：調べて残す（調査研究・保存・維持管理・伝承）」、「方針2：伝えて共有し、育てる（情報発信・活用・人材育成）」、「方針3：未来につなげる（体制整備、防災・防災への備え、拠点施設の整備）」に基づいた29の措置（事業）を各計画期間に実施する予定である。



文化庁 村上文化財調査官 現地視察（信玄堤）



文化庁 村上文化財調査官 現地視察（龍地の大溜池）



令和4年度第3回協議会



令和4年度第3回協議会 新津会長挨拶

第3表 甲斐市文化財保存活用地域計画の文化庁長官認定までの経過

年度	年月日	内 容
令和元年度	令和元年11月28日	甲斐市文化財保護審議会において、甲斐市文化財保存活用地域計画の作成計画について説明
	令和2年3月24日	
令和二年度	令和2年度中	町史誌から歴史文化資産に関する記述を収集する基礎資料調査を行う
	令和2年11月10日	甲斐市文化財保護審議会にて基礎資料調査の途中経過を報告
	令和3年2月22日	甲斐市文化財保護審議会にて、基礎資料調査の結果報告
令和三年度	令和3年度中	基礎資料調査の結果に基づき、現地調査その後、断続的に調査結果の整理分析調査を行う
	令和3年7月16日	甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委嘱式及び第1回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会（以下、協議会）の開催
	令和3年10月18日	第2回協議会の開催
	令和3年10月19日	骨子案について文化庁との第1回協議（オンライン）
	令和3年11月16日	第3回協議会の開催
	令和3年12月21日	第4回協議会で素案（初稿）を報告
	令和4年1月11日	甲斐市文化財保護審議会に素案（初稿）を報告
	令和4年1月18日	甲斐市議会総務教育常任委員会に素案（初稿）を報告
	令和4年1月19日 ～2月10日	パブリックコメントの実施
	令和4年1月31日 ～2月10日	甲斐市議会・甲斐市教育委員からの意見・提言の提出
	令和4年2月15日	第5回協議会（書面開催）
	令和4年2月21日	甲斐市文化財保護審議会に素案（初稿）を諮問（書面審議）
	令和4年2月24日	素案（初稿）について文化庁との第2回協議（オンライン）
令和四年度	令和4年4月20日	第6回協議会の開催（書面開催）
	令和4年5月13日	2稿を文化庁に提出
	令和4年5月19日	文化庁との第3回協議及び村上文化財調査官による現地視察
	令和4年6月1日	村上文化財調査官から2稿へのコメント
	令和4年6月15日	3稿を文化庁に提出
	令和4年6月21日	村上文化財調査官から3稿へのコメント
	令和4年7月29日	4稿を文化庁に提出
	令和4年8月18日	文化庁の地域計画グループから4稿へのコメント
	令和4年8月22日	第7回協議会を開催し、文化庁に申請する素案（最終稿）の最終協議（書面開催） 甲斐市文化財保護審議会に諮問・答申（書面開催）
	令和4年11月28日	文化庁へ認定申請書の申請
	令和4年12月16日	同日行われた文化審議会文化財分科会にて、甲斐市を含めた18市町の文化財保存活用地域計画を認定することを文化庁長官に答申。これをふまえ、文化庁長官は答申のあった18市町の文化財保存活用地域計画を認定。 ※今回の認定により、認定件数の合計は96件となった
	令和5年3月24日	第8回協議会で文化庁長官認定の報告と今後の予定を報告

3. 指定文化財

(1) 松尾神社本殿（市指定有形文化財）の屋根修繕工事

令和4年1月に強風によって本殿北側の樹木が折れ、本殿屋根を一部破損した。氏子等と協議した結果、令和4年度第1号補正によって本殿屋根修繕のための予算を確保し、補助金を支出することとなった。工事は令和4年7月20日（補助金交付決定日）から令和5年2月28日まで断続的に行われ、修繕が完了した。なお、現状変更申請等も遅滞なく行っている。

(2) 光照寺薬師堂（国重要文化財）の調査

令和4年10月、東京大学大学院工学研究科建築学専攻 海野 聡准教授から光照寺薬師堂の調査申請があったため、寺にも内容を伝達した。海野准教授は科学研究費補助金の研究助成を受け、古代から中世における中国大陸からの技術導入の過程、および大仏様・禅宗様と古代以来の日本の建築様式（和様）の比較に研究を行っており、それに関わる調査が行われた。

(3) 市指定無形民俗文化財の祭典中止

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「大久保の神楽」が中止、「金剛地金山神社祭典」が氏子のみで祭礼を実施した。

(4) 指定文化財説明板設置

八王子神祈願図絵馬（県指定有形文化財）が奉納されていた八雲神社付近に説明板を設置した。絵馬は県立博物館に寄託しており盗難の恐れはないこと、市民等が現物を見る機会が限られることから、説明板には絵馬の赤外線写真を掲載した。

(5) 「竜地の揚子梅」（県指定天然記念物）の所有者変更

令和4年8月、当該文化財が所在する土地所有者である井上 守氏（千葉県在住）から、広大な所有地を市にご寄附いただいた。それに伴い山梨県知事宛に文化財所有者変更届を递達し、令和5年2月7日付・文化第4294号によって所有者変更が行われた通知が市教委に届いた。以後、当該文化財は市が管理することとなる。

(6) 第69回文化財防火デーの実施

令和5年1月25日及び26日に、防火デーに伴う消防署の立入検査が行われた。1月25日は峡北消防署管内の龍藏院（龍地）、妙善寺（宇津谷）、1月26日は甲府地区消防本部管内の慈照寺（竜王）、峰観音堂（牛匂）、天澤寺（亀沢）、金剛寺（篠原）、山縣神社（篠原）、松尾神社（中下条）、三社神社（竜王）の立入検査が行われた。



八王子神祈願図絵馬 説明板工事検査



竜地の揚子梅

4. 調査・研究

(1) 大久保岡田家文書の簡易目録作成

令和4年2月に市教委に連絡があり、その後市に文書をご寄付いただいた。3月～7月にかけて断続的に簡易目録作成を行ったところ562点の文書等を把握した。7月下旬に作成した目録データを岡田氏にお渡しし、簡易的な結果報告を行った。引き続き、本整理に向けて断続的に調査を実施する予定である。ご寄付いただいた文書の次別内訳は、16世紀代が1点、17世紀代が5点、18世紀代が19点、19世紀代が291点（書籍含む）、20世紀代が48点、年代不詳が198点である。最も古い年号を持つ文書は元龜3年（1572）10月付けの依恐償後納之定（文書番号295）であるが原本かどうかは疑わしい。なお、翻刻などは行っていないため、今後時間をかけて分類などの本整理を行う。



簡易目録作成風景



文書番号 295

(2) 漆戸飯沼家文書の簡易目録作成

睦沢地域ふれあい館の飯沼館長から、家にある古文書についての相談を受けた。令和4年5月25日、睦沢地域ふれあい館を訪れ現物を確認したところ、館長から「市に寄付したい」という意向を伺った。点数を把握するため一度お預かりし、ホコリ等を除去した上で点数を把握したところ、1400点あまりの古文書があることが判明した。その後、簡易目録作成の過程で文書は合計で1482点あることがわかった。最も古い年号を持つ文書は天正19年（1591）10月19日の袖に関する文書の写し（文書番号38）である。内訳は16世紀代2点、17世紀代10点、18世紀代283点、19世紀代256点、20世紀代20点、年代不詳が911点である。18世紀代の文書が占める割合が非常に多く、本史料は漆戸地区の近世史を紐解く上で、かなり重要な史料になると思われる。大久保岡田家文書と同様、今後は時間をかけて分類し、調査研究を行う。



点数把握前状況



慶長7年銘がある水帳（文書番号98）

(3) 竜王新町後藤家文書について

令和4年5月、南アルプス市ふるさと文化伝承館（以下、伝承館）から本市教育委員会宛に、上記文書について連絡があった。甲斐市竜王新町在住の方が、伝承館のテーマ展「藍と綿が奏でる にしごおりの暮らし」をご覧になり、伝承館の担当者に「かつて自宅が紺屋だった」とお話された。別日に伝承館の担当者が資料調査に竜王新町のご自宅に伺ったところ、幕末から大正にかけての紺屋資料が一括で残っていることが判明し、急速伝承館で展示することとなった。

伝承館の担当者のご好意により、竜王新町在住の方を本市教育委員会にご紹介いただき、今後の資料の扱いについて伝承館で打合せを行った結果、テーマ展終了後に伝承館で資料の写真撮影やデータ入力を実施したのち、甲斐市に資料をご寄付いただけるという算段となった。

(4) 陸沢地域ふれあい館 飯沼館長から漆戸集落の歴史文化聞き取り

飯沼館長宅に所蔵されていた文書をご寄付いただいた関係で、飯沼館長に集落を案内していただき簡易的な聞き取りを実施した。岳林山 竜泉寺跡、氏神の諏訪神社、生業や祭礼について、集落内だけで用いる地名、山中にある石造物など、短時間ではあるが様々な歴史文化を実現することができた。

歴史文化の次世代への継承方法が課題とされる昨今、調査規模は様々あるが、今後もこのような聞き取り調査は重要となる。しかし、集落の歴史文化を調査したい、教えてくださると突然訪れても、住民感情的にすぐに協力いただけるとは到底思えない。したがって、まずは行政の仕事で何度かやりとりをしたことがある方に協力や橋渡しをお願いし、少しずつ集落に踏み込んで調査が行える体制整備が必要である。



旧竜泉寺境内地 写真奥は「オテラヤマ」



「ナカミチ」と呼称する集落内の道（ノラへ続く）



「ノロシバ」と呼称する山中の平坦部



「ノロシバ」にある「オテンノウサン」



山中にある漆戸村山神大権現



山中にある天狗像（大正5年4月銘あり）

5. 日本遺産関連

令和4年6月4日、山梨郷土研究会主催の「地域開放講座・甲斐市」（開催場所：敷島総合文化会館）において、各担当者が御嶽昇仙峡・御嶽道・旧羅漢寺に関する発表を行った。本市は、令和3年度に実施した「信仰と古道関連文化財調査」での成果品の1つである、旧羅漢寺周辺のUAVレーザ測量を実施した結果を本講座で初公開した。また、令和5年2月11日に甲府市総合市民会館で開催された甲府・甲斐両市長も出席した「日本遺産フェスト」に、会場の手伝い等で出務した。

6. 教育・普及事業

甲斐市内や甲斐市に関係する文化財について、市民の方に広く理解してもらう歴史講座と、講師派遣依頼に基づいた市内文化財の解説等を行った。令和4年度は、ガイドライン等に沿って最大限の感染拡大防止に努めつつ実施した。

第4表 令和4年度 歴史講座（全9回）

開催日	講座名	講師	内容	参加人数
7月26日	日本遺産 御嶽昇仙峡の植物を学ぼう！	菰原 桂氏 (市文化財保護審議会委員)	御嶽昇仙峡を歩きながら、渓谷沿いの植物を観察する	8
7月30日 8月6日	親子でも参加可能！ まが玉作り	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会会員)	7/30 午前/午後 各1回 8/6 午前/午後 各1回	24 25
8月30日 9月27日 10月25日	3つのテーマで振り返る甲斐市	内藤 博文氏 (元甲斐市副市長)	8/30 甲斐市内3つの軌道 9/27 私たちの昇仙峡今昔 10/25 映像で振り返る甲斐市	20 18 17
10月6日	紅葉前の御嶽昇仙峡を歩いてみよう！	菰原 桂氏 (市文化財保護審議会委員)	御嶽昇仙峡を歩きながら、渓谷沿いの植物を観察する	10
講座 全9回/参加者総数			合計 122人	



日本遺産 御嶽昇仙峡の植物を学ぼう！



親子でも参加可能！まが玉作り

第5表 令和4年度 講師派遣依頼

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
4月14日	市文化協会郷土研究部	一般	峠の腰窓跡	5
5月2日	双葉東小学校長	小3	往生塚古墳	124
5月12日	飯田市商業観光課長（長野県）	一般	黄梅院跡、信玄堤、竜王河原宿	11
5月18日	敷島新町いきいきサロン	一般	日本遺産と御嶽道	15
5月20日	竜王2区いきいきサロン	一般	信玄堤、三社神社、竜王武田神社	25
6月4日	山梨郷土研究会会長	一般	「地域開放講座・甲斐市」御嶽昇仙峡、御嶽道、日羅漢寺	40
6月14日	玉幡小学校長	小4	信玄堤、三社神社	43
7月12日	名取いきいきサロン	一般	甲府勤番について	25
7月27日(中止)	関東市議会議長会	一般	御嶽昇仙峡	—
8月17日	中巨摩教育協議会長ほか	教職員	中巨摩教育協議会第3回「地域の自然と文化」研究会 双葉地区のたてなしせぎ・ため池について	45
8月21日(中止)	清川地域ふれあい館長	一般	—	—
8月24日	市視覚障害者協会会長	一般	信玄堤、山縣大武	15
8月25日(中止)	桐朋女子高校長（東京都）	高1	信玄堤、竜王河原宿	—
9月28日	大下条いきいきサロン	一般	松ノ尾遺跡 16 次調査について	20
9月30日	山中湖村立山中湖小学校長	小4	信玄堤	23
10月11日	身延町立身延清陵小学校長	小4	信玄堤	4
10月14日	敷島南小学校長	小4	甲斐市の文化的行事	77
10月20日	双葉西小学校長	小2	双葉歴史民俗資料館	8
10月25日	身延町立下山小学校長	小4	信玄堤	10
10月25日	宮地いきいきサロン	一般	信玄堤	20
10月30日	北部公民館長	親子	親子で古墳探検	23

開催日	依頼者	対象	内 容	参加人数
11月2日	竜王東小学校長	小4	石積出、将棋頭、信玄堤	31
11月2日(中止)	吉沢地域ふれあい館長	一般	—	—
11月8日	陸沢地域ふれあい館長	一般	北杜市方面	20
11月10日	竜王小学校長	小4	信玄堤、三社神社	63
11月15日	敷島南小学校長	小4	石積出、将棋頭、信玄堤	77
11月21日	双葉西小学校長	小4	楯無堰、野村宗貞のこと	44
11月22日	山梨ことぶき勸学院甲府B教室	一般	信玄堤、三社神社	27
12月17日	山梨県埋蔵文化財センター所長	一般	私を古墳につれてって5	20
1月25日	大下条いきいきサロン	一般	日本遺産と御嶽道	20
1月26日	双葉西小学校長	小3	双葉地区の昔の道具	52
1月26日(中止)	月林区いきいきサロン	一般	—	—
1月27日	竜王南小学校長	小3	うつりかわる道具の昔と今	42
2月2日	敷島南小学校長	小3	かわる道具「今とむかし」	62
2月8日	竜王小学校長	小3	かわる道具とくらし	54
2月21日	サロン赤坂新1(竜王新町上)	一般	竜王新町の絵図	6
3月11日	山梨県埋蔵文化財センター所長	一般	下半期遺跡調査発表会(峠の腰窯跡)	33
3月17日	竜王健康友の会長	一般	ドラゴンパークから信玄堤	13
講師依頼件数 合計 38 件 参加人数 合計 1,097 人				



双葉東小学校 往生塚古墳 (5/12)



山梨郷土研究会「地域開放講座・甲斐市」(6/4)

第2章 埋蔵文化財

1. 令和4年度 埋蔵文化財保護行政概要

以下に試掘調査一覧、開発の届出件数、包蔵地間合せ件数を表にまとめた。

第6表 令和4年度 試掘調査一覧

No.	道路名	時期・年代	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な遺構	主な遺物	試掘指示通知番号	備考
1	霞堤	中世・近世	玉川字立野981-2	248.25	3	R4.5.16	個人住宅 浄化槽 建設工事	なし	なし	令和3年11月19日付・文化第3248号 前年度 受付№62
2	菅科遺跡	縄文	田子新屋字菅科408-8	88.59	3	R4.5.24	個人住宅 浄化槽 建設工事	なし	なし	令和4年5月9日付・文化第573号 受付№5
3	大原北遺跡	古墳	竜王新町字大原2225-1の一部	448.4	3	R4.5.24	個人住宅 浄化槽 建設工事	なし	なし	令和3年8月12日付・文化第3032号 前年度 受付№28
4	包蔵地外 (富竹2期工区)	-	藤原3065-1の一部	18.9	4	R4.6.23	延滞新設 工事	なし	なし	(試掘依頼) 受付№12
5	末法遺跡	縄文・古墳	大下糸205-1他3筆	2,082	94.3	R4.9.12～ 9.14	宅地造成 工事	なし	なし	令和4年8月23日付・文化第2010号 受付№34
6	豊原遺跡	平安	天狗沢字豊原4-1	2,361	40	R4.12.9～ 12.10	宅地造成 工事	なし	なし	令和4年11月16日付・文化第3194号 受付№57
7	大原北遺跡	古墳	竜王新町字大原2221他2筆	3,392	50	R4.12.12～ 12.13	店舗建設 工事	なし	なし	令和4年10月21日付・文化第2835号 受付№47
8	原腰遺跡	古墳・平安	島上糸字山宮地1086-1	289.01	8	R5.2.13	個人住宅 建設工事	なし	なし	令和5年1月16日付・文化第3931号 受付№70
9	原腰遺跡	古墳・平安	島上糸字山宮地1086-1	336.13	48	R5.2.13	個人住宅 建設工事	なし	なし	令和5年1月16日付・文化第3932号 受付№71
10	上ノ段A遺跡 上ノ段C遺跡	近世 縄文	大久保字村前331-1	563.71	23	R5.2.14	個人住宅 建設工事	なし	なし	令和5年1月16日付・文化第3948号 受付№69
11	神田遺跡	縄文・弥生・ 古墳・近世	竜王新町字天神前675-1他1筆	1,017	32	R5.2.20～ 2.21	宅地造成 工事	なし	なし	令和5年2月6日付・文化第4259号 受付№77
12	御由田遺跡	古墳・平安	大下糸960	1,359	133.24	R5.3.7～ 3.28	介護事務所 建設	彫穴建物跡 土坑 自然流路	土師器片 (試掘依頼)	受付№79

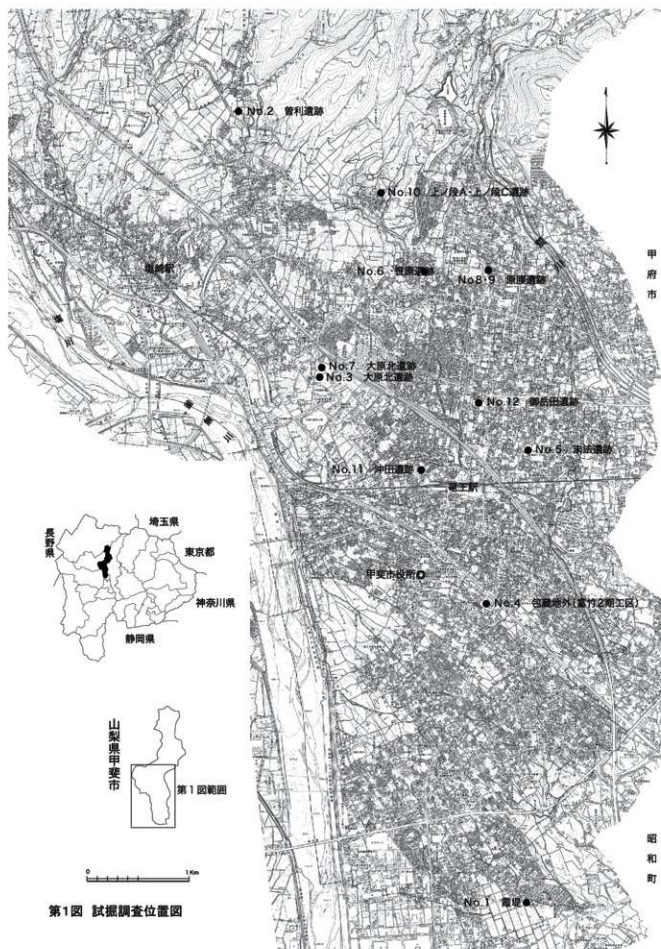
第7表 令和4年度 開発の届出(通知)件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼 受付	計
試掘調査指示	8	2	2	12
工事立会指示	48	17	—	65
慎重工事指示	14	3	—	17
計	70	22	2	94

※年度内に文化財保護法に基づく届出・通知及び試掘依頼書を受受理し、指示等を行った件数

第8表 令和4年度 包蔵地間合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
件数	197	911	1,108



第1図 試掘調査位置図

2. 令和4年度 試掘調査概要

No.1 霞堤

所在地 玉川字立野 981-2
調査原因 個人住宅浄化槽
調査期間 令和4年5月16日
調査面積 3㎡
調査担当 塩谷風季



掘削状況

個人住宅浄化槽設置工事時に試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。

No.2 曾利遺跡

所在地 団子新居字曾利 408-8
調査原因 個人住宅浄化槽
調査期間 令和4年5月24日
調査面積 3㎡
調査担当 塩谷風季



掘削状況

個人住宅浄化槽設置工事時に試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。

No.3 大原北遺跡

所在地 竜王新町字大原 2225-1
調査原因 個人住宅浄化槽
調査期間 令和4年5月24日
調査面積 3㎡
調査担当 塩谷風季



掘削状況

個人住宅浄化槽設置工事時に試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。

No.4 包蔵地外（富竹2期工区）

所在地 篠原 3065-1
調査原因 試掘依頼（依頼者：山梨県中北建設事務所）
調査期間 令和4年6月23日
調査面積 4㎡
調査担当 塩谷風季

現地表面から最大252cmまで掘削したが、遺構・遺物は確認されなかった。地下20cm程度で円礫を多量に含む層となるため、釜無川などの河川の影響が強い地域であると考えられる。本調査は実施しない。



掘削風景（南東から）



土層堆積状況



掘削状況（東から）



土層堆積状況

No. 5 末法遺跡

所在地 大下条 205-1 他 3 筆

調査原因 宅地造成工事（申請者：個人）

調査期間 令和 4 年 9 月 12 日～ 14 日

調査面積 94.3㎡

調査担当 塩谷風季

現地表面から最大 160cm ほど掘削したが、遺構は検出されなかった。地表下 60cm 程度の深さから、弥生時代・古墳時代・平安時代の土器片が少量出土したが、地形による流れ込みによるものと考えたため、本調査は実施しない。



TR-2 掘削状況（南から）



TR-2 土層堆積状況（南から）



TR-3 掘削状況（東から）



TR-3 土層堆積状況（北から）

No.6 笹原遺跡

所在地 天狗沢字笹原4-1

調査原因 宅地造成工事（申請者：野中林業所）

調査期間 令和4年12月9日～10日

調査面積 40㎡

調査担当 塩谷風季

白鳳期の瓦陶兼業窯である天狗沢瓦窯跡（県史跡）に近接する平坦地である。現地表面から最大74cmまで掘削を行ったが、遺構は確認できなかった。遺物は数点の土器小片が出土したのみである。したがって、本調査は実施しない。



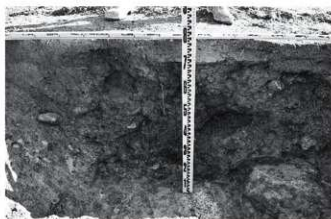
TR-1 掘削状況（南から）



TR-1 土層堆積状況（西から）



TR-2 掘削状況（西から）



TR-2 土層堆積状況（北から）

No.7 大原北遺跡

所在地 竜王新町字大原 2221 他2筆
調査原因 店舗建設工事（申請者：クスリのアオキ）
調査期間 令和4年12月12日～13日
調査面積 50㎡
調査担当 塩谷風季

現地表面から約48cmまで掘削したが、遺構は検出されなかった。地表下約29cmで茅ヶ岳南麓地域の地山である粘土質の褐色土となる。時期不明の土師器小片などが出土したが遺構に伴うものではないと判断したため、本調査は実施しない。



TR-1 掘削状況（南東から）



TR-1 土層堆積状況（東から）



TR-2 調査風景（南東から）



TR-2 土層堆積状況（東から）

No.8・9 原腰遺跡

所在地 鳥上条字山宮地 1086-1

調査原因 個人住宅建設工事

調査期間 令和5年2月13日

調査面積 8㎡+4.8㎡

調査担当 塩谷風季

地表下約106cmまで掘削を行ったが、全層位が客土であった。したがって、本調査は実施しない。



TR-1 掘削状況（東から）



TR-1 土層堆積状況（東から）



TR-2 掘削状況（北東から）



TR-2 土層堆積状況（北東から）

No.10 上ノ段A遺跡・上ノ段C遺跡

所在地 大久保字村前 331-1

調査原因 個人住宅建設工事

調査期間 令和5年2月14日

調査面積 2.3㎡

調査担当 塩谷風季

個人住宅浄化槽設置工事時に試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。



調査前風景



土層堆積状況

No. 11 沖田遺跡

所在地 竜王新町宇天神前 675-1 他 1 筆
 調査原因 宅地造成工事（申請者：奥山不動産）
 調査期間 令和 5 年 2 月 20 日～ 21 日
 調査面積 32㎡
 調査担当 塩谷風季

地底下最大約 76cm まで掘削を行った。地底下 30cm 程度までは水田層、以下は砂礫層となる。遺構・遺物は確認されなかったため、本調査は実施しない。



掘削風景（西から）



掘削状況（南西から）



掘削状況（西から）



土層堆積状況（南から）

No. 12 御岳田遺跡

所在地 大下条 960

調査原因 試掘依頼（依頼者：医療法人燦生会）

調査期間 令和5年3月7日～28日

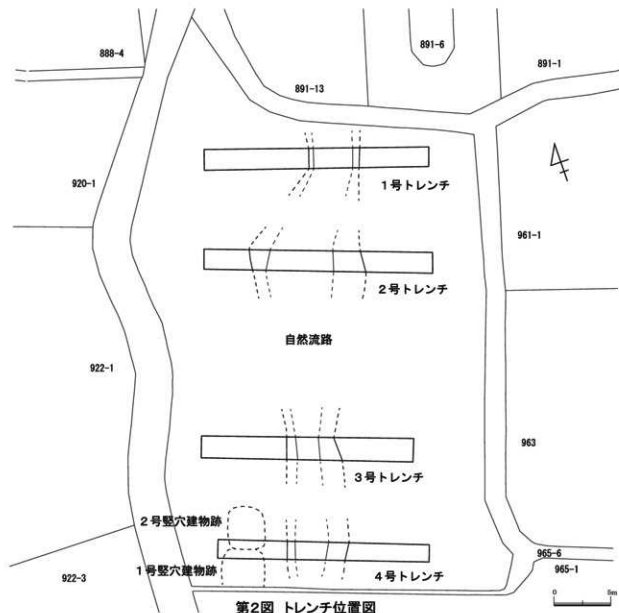
調査面積 133.24㎡

調査担当 塩谷風季

申請地の東隣接地は御岳田遺跡第1次調査、第6次調査が実施された場所で、道路をはさんで西側は御岳田遺跡第7次調査が実施された場所である。そのため、事業者が相談に来庁した際には遺跡が確認される可能性が大きいことを伝えた。その後、事業者から「93条届出前に遺跡の有無を把握したい」という相談を受けたため、試掘依頼によって開発前に試掘調査を実施することとなった。

事業予定地に4本の東西トレンチを設けて調査をしたところ、竪穴建物跡2軒（平安・時期不明）や土坑などを確認した。また、トレンチ全面で南北方向の自然流路を検出し、流路の覆土からは多量の古墳・平安時代の土器片が出土した。なお、本遺跡の自然流路は金の尾遺跡で検出された自然流路と同一遺構の可能性が考えられる。

以上により、①当該地に恒久的建造物を造る場合、②建物などの工事によって遺構が破壊される場合、③30cm以上3m以下の保護層が設けられない場合には本調査が必要である旨を回答した。その後、工事は着工されていない。





TR-1 掘削状況 (西から)



TR-1 自然流路 土層堆積状況 (南から)



TR-2 掘削状況 (西から)



TR-2 自然流路 土層堆積状況 (南西から)



TR-3 掘削状況 (西から)



TR-3 西端 土層堆積状況 (南から)



TR-4 掘削状況 (西から)



出土遺物

年 報 抄 録

ふりがな	かいしれきしぶんかしさんねんぽう				
書名	甲斐市歴史文化資産年報6				
副書名	令和4年度				
巻次					
シリーズ名	甲斐市文化財調査報告書				
シリーズ番号	38				
編著者名	長谷川 哲也				
編集機関	甲斐市教育委員会				
所在地	〒400-0192 山梨県甲斐市篠原 2610				
発行年月日	令和6年〔西暦2024年〕3月31日				
令和4年度 埋蔵文化財試掘調査					
所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
御岳田遺跡	集落跡／墓域	古墳・平安	竪穴建物跡 自然流路	土師器	竪穴建物跡2軒、南北方向に自然流路を検出。



委員研修 千曲市焼捨 SA にて

甲斐市文化財調査報告書 第38集

甲斐市歴史文化資産年報6

令和4年度

発行日	令和6年(2024)3月31日
発行	甲斐市教育委員会 山梨県甲斐市篠原 2610 TEL (055)278-1697
印刷	青柳印刷株式会社 山梨県甲斐市長塚 526